事業名：JWBF組織基盤強化事業
～中長期計画推進プロジェクト～

団体名：一般社団法人
日本車いすバスケットボール連盟

事業実施の背景・課題、目標

日本車いすバスケットボール連盟（JWBF）は、今から約20年前の2003年は、全国で男女を合わせ103の登録チームが存在してた。2003年をピークに、2024年には、30チームも減少し、現在では71チームまで減少している。東京オリンピック・パラリンピック以降、パラスポーツの認知度が急激に向上したが、**地域においては、競技人口減少に歯止めがかからない**課題が存在している。

登録選手の減少だけではなく、**組織内の専門部、委員会、ブロック担当者等を支えるスタッフの人材育成（次世代）も急務**である。

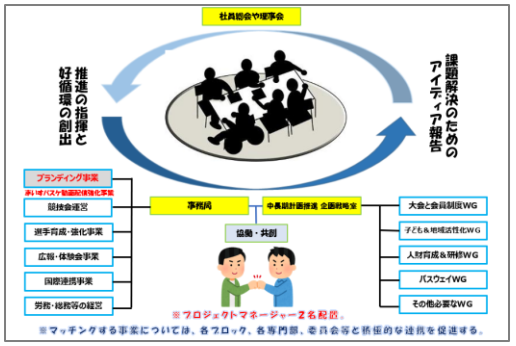
そういった背景を踏まえ、組織体制基盤も変革期の真っ最中である一方、少数精鋭で事業運営をしている事務局1人1人の業務量も膨大という課題が存在し、本事業を通じて、**組織基盤強化を図りながら、中長期計画推進プロジェクト等を円滑に進め、核となる人材確保や人材育成**に取り組むものである。

本事業における具体的な取組内容

計画№1　マネジメント人材の活用事業

実施期間：　令和5年～令和7年

取組内容：　プロジェクトマネージャー2名を配置し、JWBF事務局と中長期計画推進委員会企画戦略室と協働・共創する。
マッチングする事業について、全国ブロック、各専門部、委員会等と積極的な連携を促進する。
社員総会や理事会の意思決定機関からの推進の指揮と好循環の創出をし、中長期計画推進委員会と連携をしながら、課題解決に取り組む。



計画№2　車いすバスケットボール動画配信強化事業

実施期間：　令和5年～令和7年

取組内容：　天皇杯及び皇后杯等においてチケット販売やLIVE配信を行い、経済的理由や重度障害による移動困難なケースの方々など、全ての国民に等しく、車いすバスケットボールの魅力を見て知って、応援頂ける環境を整備する。

令和6年度の取組内容

計画№1　マネジメント人材の活用事業
プロジェクトマネージャー2名を配置。JWBF事務局と中長期計画推進委員会企画戦略室と協働、共創をし、事業の立案や推進に取り組み、立案された事業に対し、積極的に全国の各ブロックや各専門部・委員会等と連携を図る。
　実施事業：プラスワンプロジェクト（競技用車いすの貸与事業）
　　キッズ＆ジュニア支援事業（ジュニアチームの活動支援事業）
　　ONE DAY PROJECT（地域活性化事業）
　　チャレンジャーズ事業（車いすバスケボールの発掘支援事業）

計画№2　車いすバスケットボール動画配信強化事業
2024年度開催の大会（7回）とJWBFチャンネル（12回）のライブ配信を実施。
主催大会開催の宣伝広報活動の一環として、JWBF公式YouTubeチャンネルと連動し、視聴者の誘引、視聴数の増加へつなげる。

令和6年度の取組の進捗・成果・課題

【令和6年度の進捗・成果】
計画№1　マネジメント人材の活用事業
・プロジェクトマネージャー2名を雇用
・事業への新規パートナー企業の獲得（1社増）。全国にいるパートナー企業の社員の方々に、パラスポーツの理解啓もうの場の提供。実際に体験をし、車いすバスケの魅力を体感してもらった。
・全国各地でクラブチームと連携をし事業を開催。地域社会の活性化や共生社会の理解へ広くつなげることができた。

【令和6年度に生じた課題】
事業推進において、年間を通して同時進行で開催される事業をマネジメントする人材や事務局運営の人員不足はまだ解消できていない。

<Vol.11> TEAM EARTH＊前編　車いすバスケ★日本全国クラブチーム紹介プロジェクト「WB」

【令和6年度の進捗・成果】
計画№2　車いすバスケットボール動画配信強化事業
・LIVE配信の実施　10大会
　YouTubeチャンネル　47本投稿
・日本全国のクラブチームを紹介動画をし、各クラブチームとの連携やコミュニケーションが向上した。
・クラブチーム紹介動画等を通して、競技普及や車いすバスケットボールに対しての認知度が向上し、競技者自身の参加に意欲にもつながった。
・動画を見たファンの方が、各チームへの応援や大会観戦へとつながり、日本車いすバスケットボール連盟としての活動の幅が拡大し裾野が広がった。

【令和6年度に生じた課題】
動画配信する専門スタッフ（企画、取材、撮影、映像編集、アップロード等）のアウトソーシングは事業推進や拡大をしていく上で必須と感じた。

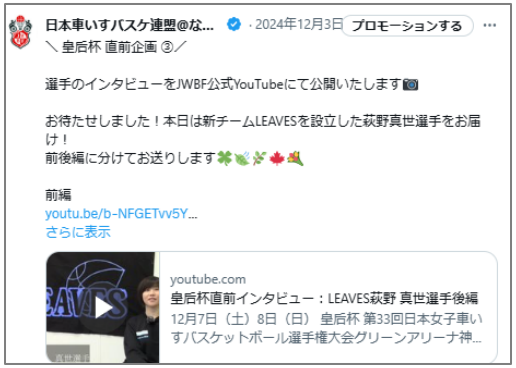
本事業の成果目標・KPIの達成状況（2024年1月22日時点）

成果目標・KPI1　プロジェクトマネージャー2名雇用

R5実績：2名　　R6成果：2名

成果目標・KPI2　天皇杯及び皇后杯等においてチケット販売及び、LIVE配信を行う

チケット販売（天皇杯）	R5実績：4895枚	R6成果：4290枚
LIVE配信	R5実績：5大会	R6成果：10大会
YouTubeチャンネル	R5実績：なし	R6成果：47本投稿



令和7年度の実施予定

【令和7年度の取組内容】

- マネジメント人材の活用（プロジェクトマネージャーの雇用2名、サブマネージャーの雇用1名）
- 車いすバスケットボール動画配信
- 会員登録制度の新規構築

【令和7年度の改善策】

・マネジメント人材の活用
　事業計画・目的・内容に沿った事業運営・体制及びスケジュール管理

・車いすバスケットボール動画配信
　事業運営担当者と連携する専門スタッフ（企画、取材、撮影、映像編集、アップロード）へのアウトソーシングの拡大。
　チャンネル登録者数と総再生数を増やす告知・広報の強化。

・会員登録制度の新規構築
　継続的な運用が可能となるよう連盟内の体制を確実なものとする。
　データベース構築にかかる収支計画を精緻化する。